

Life is Why?



社会医療法人社団愛心館 理事長
愛心メモリアル病院 院長 岡本 洋



協働しながら、個々人に相応しい専門的診療スキームを構築することが求められていると実感したからです。

患者さんご本人のアドヒアランスとリテンションを高く保つた生活管理やセルフケアの必要性と個人の意思を反映した納得できる終末期の迎え方を考え、患者・家族間での即時性をもった情報共有・コミュニケーションのプラットフォームを創出すること、そのためには循環器専門病院（一般病院―療養型病院―）在宅診療所の連携が不可欠です。

心不全の病態は多彩です。心不全パネデミックと言われるほど患者さんが増えています。診療の最適化には個別化・高度先進化の推進が重要です。当院では、北海道大学と連携して、ゲノム診断や構造的な心不全治療を含めた先進的な診療協力体制を敷いています。また、心不全カンファレンスを開催し、多くのスタッフで個々の患者さんの情報を共有し、多職種協働を進めています。

事例を挙げておりませんが、薬剤／構造的治療の他、運動／食事療法や緩和ケアにより、精神的にも安定し、心不全が改善する多く

皆さん、よくご存知のように、アンパンマンのマーチには戦争と差別の時代を生きた、やなせたかさんの気持ちが良く表れています。

医療者の原点も、「困っている人がいたら、助けられる人になりたい」という単純な思いでしょうか。アメリカ心臓協会(AHA)では「Life is Why?」という標語を掲げています。生を得て、生きる喜びとその大きさを問うています。何の



カンファレンスの様子

の患者さんがおられます。

今後は、訪問心臓リハビリや心不全友の会、ソーシャル・ネットワークサービスマスやICTを活用した心不全手帳／ホットライのデジタル化にも注力します。

その心は、各市町村との連携を深める北海道国民健康保険団体連合会と同じではないかと思

います。

私たちも同様に、連携と協働をしながら、前へ前へと突き進んで行きたいと考えております。



多職種チーム

為に生まれて、何をして生きるのか。我々医療者に求められている視点でもあります。

愛心館は札幌市内に3ヶ所の病院・診療所の他、介護老人保健施設、訪問看護ステーション／居宅介護支援事業所を運営しています。社会医療法人として、「心と心臓を大切に、地域社会と共に、信頼のおける質の高い医療を提供したい。」そんな願いが「愛心」には込められています。

法人の核となる愛心メモリアル病院は、1986年心臓血管外科専門病院として生まれ、2001年透視センター、2013年眼科センター、2018年循環器内科／心臓リハビリセンター及び皮膚科、2019年腎臓内科、2021年糖尿病内科を併設し、生活習慣病はじめ循環器疾患の統合的な診療体制がほぼ整いました。

専門的、かつ統合的、かつ網羅的な心臓・血管病治療を行うことができ、しかも、機敏で即応

性ある対応が持ち味です。心臓／腎臓病への移行抑制にも取り組んでいます。

加えて、循環器専門医研修施設でもあり、「心不全診療センター」構想に着手しました。多様な医療機関で完結せず、地域全体があたかも一つの医療機関であるかのように、有機的に連携・



ピンチをチャンスに 特定保健指導で生活習慣病をシャットアウト!!

健診の結果、メタボのリスクがある人には、**特定保健指導**が行われます。生活習慣病の発症を未然に食い止めるために、専門家による、一人ひとりに合った個別のサポートが受けられます。対象となった人は、必ず**特定保健指導**を受けましょう!

令和2年度における 北海道の保健指導実施率
市町村国保 **33.8%**
国保組合 **0.95%**

保健指導の対象になったということは、改善の余地があるということです。ピンチはチャンス! しっかり受けて病気をシャットアウトしましょう。

特定健診・特定保健指導の流れ

- 1 受診券が届く
- 2 受け方を決める
- 3 受診する
- 4 健診結果
- 5 リスクが低い人へ 積極的支援
- 5 リスクが高い人へ 積極的支援

特定健診と特定保健指導の二刀流で 目指そう! 健康 MVP

北海道・市町村(広域連合)国民健康保険 国民健康保険組合・北海道国民健康保険団体連合会

小さな異変を見逃さない 特定健診で生活習慣病をはね返そう!!

特定健診は、生活習慣病の予防と早期発見のために行われる年1回の健康診査です。がんや脳卒中、心疾患などの命にかかわる病気の芽を見逃さないために、毎年欠かさず受診することが重要です。

令和2年度における 北海道の特定健診受診率
市町村国保 **27.0%**
国保組合 **34.1%**

左記のとおり、多くの人が未受診のまま、病気の芽を放置している可能性があります!

こんな人はいませんか?

- 通院中から受けなくていいですか? → 通院中の方も対象です。思わぬ病気の発現につながる場合がありますので、主治医と相談のうえ忘れず受けましょう。
- コロナで受診を控えています → 感染を恐れず健診を受けてください。生活習慣病の発見が遅れてしまうかもしれません。健診は欠かさず受けましょう。
- 忙しいので受診の暇がなくて... → 特定健診は年1回、数時間から半日程度です。ずっと元気で働くために、時間を惜しまず健診を受けに行きましょう。
- 生活習慣病は自覚症状なく進行します。 → 生活習慣病は自覚症状なく進行します。「あんなに元気だったのに」というケースも少なくないので、診断は禁物です。

生活習慣病の予防と早期発見のため、年1回、特定健診を必ず受けましょう

北海道・市町村(広域連合)国民健康保険 国民健康保険組合・北海道国民健康保険団体連合会

「特定健診・特定保健指導の受診率及び実施率向上」を目的としたリーフレットです。
※リーフレットに関するお問い合わせは、北海道国民健康保険団体連合会 企画振興係まで